

アキラボーイ×タヌキチくん

アキラボーイとタヌキチくんの

ダンスバトル

企画書



企画詳細説明

デジタルショー

今流行りの最新デジタル技術を組み込んだ、お笑い芸人アキラボーイが、世界でも初めて作り上げたショー、それがデジタルショーです。その爆発的なウケは、日本の子供向けイベントの中でもトップクラスを誇り、リピート率も高く、全国各地で年間200件以上のショーを行っています。

子どもむけ

今まで数多くの幼稚園や保育園、小学校などを回っているアキラボーイは、その積み重なった経験から、保育士ほどに子供の扱いもうまく、子供の事をよく考えています。子供向けにやってるパフォーマーは日本中たくさんいますが、子供をよく知って、よく扱いながらショーをするというパフォーマーは、あまりいないのではないのでしょうか。ショーが終わった後も、大変みなさんに愛されていて、リピート率も、ものすごく高いものになっています。

デジタルショーの一番の売りは、子供に優しいアキラボーイのその人柄なのです。

デジタルショーの内容は、日本ではオンリーワンの芸なので、その内容自体も面白いのですが、それを超えて、芸というものは、やはり人柄というものが一番大事だと考えています。

さしかがた

またデジタルショーの一番の特徴として、お客さん全員が参加型のショーとなっています。お客さんが1、2人ステージに上がるというショーはよくありますが、デジタルショーに関しては、お客さん全員がステージに上がってもらいます。子供向けに行っていると、「僕も私もやりたかった!」などの意見などがあると思いますが、そんな思いを全員叶えてしまおう!、という!、最後には全員が笑顔になって帰ってもらうために、作り上げた形の一つとなっています。**全員が公平に、というのはなかなか難しい事ではあるのですが、それでも全員が楽しかった!と最後に言ってもらいたいという理想を追い求めて、アキラボーイの思いやりが詰まって出来上がった形が、全員参加型のショーなのです。**

じっせき

テレビ番組でも数多く特集が組まれました。※全てアキラボーイの特集枠で放送された番組です。

- TBS系列「中居正広の金曜日のスマたちへ」 ●日本テレビ系列「スッキリ!!」 ●読売テレビ系列「朝生ワイド す・またん! & ZIP!」
- 関西テレビ系列「ジャニ勉」 ●NHK総合「ろーかる直送便 デジタルアートon TV FUKUOKA」
- テレビ東京系列「ピラメキーノ640」2013～14年準レギュラー ●日本テレビ系列「ZIP!」2013年準レギュラー

数多くのコンテストでも受賞しています。

- 「アジアデジタルアート大賞2012」エンターテイメント部門 大賞受賞 ●経済産業大臣賞受賞
- 日本テレビ「iCon」D-1グランプリ(デジタル芸人No.1決定戦)優勝 ●バンダイナムコ ビジネスプランコンテスト アライアンス賞

大きなイベントも多く受注しています。

NHK「おかあさんといっしょ」イベント用デジタル看板の制作、岐阜県消費者教育推進事業、近鉄・西武そごう・大丸・京成百貨店などでのイベント、警視庁イベントなど



プログラミング教育がテーマのイベントとは？

2020年から小学校ではプログラミング教育が始まりました。ただプログラミング教育って一体何なの？という事を考えますよね？ 大人でもいまちピンとこないのに、子供がわかるのかな？なんて誰もが思う所です。そこで実際にプログラミングで作られたモノを見せる事が一番わかりやすいのではないのかなと思います。

そこでプログラミング制御されたショー「デジタルショー」をプログラミング教育のテーマとしてイベントなどで見せるという事をご提案させていただきます。

そもそもプログラミングとは

そもそもの話でプログラミングがよくわかってない人も多いかと思います。AIなどそうですが、今までやってきた人が行う作業などを、これからの時代は機械に全て自動でやってもらうために、その自動制御を作るのがプログラミングになります。自身の回りにあるものでも掃除機の代わりにルンバが自動で掃除してくれるなどありますが、あのようなものは全てプログラミング制御されていて、プログラミングで出来ています。

人口減少によるこれからのプログラミング社会 個人が対応すべきプログラミングの将来

人口減少による人材不足、その為に起こる一人辺りがこなすための仕事の増加、さらにそれによる家事などの負担の増加、これら全てはこのプログラミングによって解決されるとしています。さらには時代が進むにつれて、より細かな個人の要望に添えていく為に、それぞれ個人が作るプログラミングによって、自分の生活を支えるという様な時代になるかもしれません。その時にプログラミングが出来ない人というのはほとんど取り残されていき、プログラミング出来る人との格差社会が広がってしまうのです。

その様な問題を解決する為に、子供の頃から教育しておこうというのが、プログラミング教育の趣旨なのです。

しかしプログラミング教育が追いついていない社会

ただこのプログラミング教育はまだ始まったばかりという事もあってプログラミング教育がテーマのイベントなどもあまりないのが現状です。なのでどうプログラミング教育を教えればいいのか、みんな手探りの状態なのです。私としては、やはりイベントなどでは、プログラミングされたものを見せるというのが一番手っ取り早い教育なのではないかなと思います。またそのプログラミングされたイベントステージがめちゃくちゃ楽しいものだったり、衝撃的なものであるほど、子供たちの興味はプログラミングに向かい、自分でもそういうものを作って見たいと感じてくれると思います。

プログラミングステージは他を探してもアキラボーイだけ！

そこでご提案するのが、全編プログラミング制御されたデジタルショーをおすすめさせていただきます。映像のキャラクターに触れたり出来る全生体体験型のショーです。映像に触れると言ってもそう単純な話ではありません。子供の動きに合わせて、映像が反応します。これはAIの様なもので、子供の動きをプログラミングで分析し、その動きを映像に反映させるというもので、子供の動きもいくつかのパターンでプログラミングに仕込んで置きそれを状況に合わせて映像に反映させるという事です。これらは自動制御システムであり、プログラミング教育のまさに根底となるものです。

アキラボーイは20年も前からこのプログラミングステージを行っており、またデジタルショーという言葉や概念を世の中に作り上げたデジタルプログラミングショーの先駆者です。まさにこういうイベントステージがなかったという事もあって全国、世界を探してもアキラボーイはオンリーワンのイベントステージとなっています！

アニメまじざい

過去に経済産業大臣賞も受賞した
日本で唯一の芸「アニメ漫才」です。日本で初めて
映像との融合芸を生み出した作品の一つでもあります。



さわってみよう

全員参加のコーナー「さわってみようのコーナー」です。
ボールを蹴ったり、キャラクターに触ったり、子供の年齢に合わせて、
簡単なものから、少し体を動かしたり頭を使ったりするようなものがあります。



おおぞえ

こちらもおキラボーイが発明、NHK
おかあさんといっしょにも採用された「アニメ大声コンテスト」
です。大きな声ほど、アニメーションが活
発に動きます。(コロナ禍ではカットします。)



バーチャルゲーム

アジアデジタルアート大賞優秀賞を受賞した作品
「バーチャルゲームワールド」です。
体を使って、ゲームの世界に入って冒険します。



くうまほう

サイエンスショーの演目を
アキラボーイが令和の時代の
コンテンツに昇華させた
デジタル空気砲です。空気砲とプロジェクション
マッピングが合体した演目です。



アニメまじざい

過去に経済産業大臣賞も受賞した
日本で唯一の芸「アニメ漫才」です。日本で初めて
映像との融合芸を生み出した作品の一つでもあります。



さわってみよう

全員参加のコーナー「さわってみようのコーナー」です。
ボールを蹴ったり、キャラクターに触ったり、子供の年齢に合わせて、
簡単なものから、少し体を動かしたり頭を使ったりするようなものがあります。



おおぞえ

こちらもおキラボーイが発明、NHK
おかあさんといっしょにも採用された「アニメ大声コンテスト」
です。大きな声ほど、アニメーションが活
発に動きます。(コロナ禍ではカットします。)



バーチャルゲーム

アジアデジタルアート大賞優秀賞を受賞した作品
「バーチャルゲームワールド」です。
体を使って、ゲームの世界に入って冒険します。



くうまほう

サイエンスショーの演目を
アキラボーイが令和の時代の
コンテンツに昇華させた
デジタル空気砲です。空気砲とプロジェクション
マッピングが合体した演目です。



アキラボーイとタヌキちゃんの デジタルショー

作品内容その2

ランナー

不思議な多重映像による演出で先生と子供が合体する!!?w
超速ランナーです!(サブ作品です。)



スライドショー

即興スライドショーで、今日のイベントを振り返ります。
ここで感極まって泣く人もいる感動のエンディングです。



まぐるみ

(オプションプラン)
着ぐるみのタヌキくんも登場します!

最後に一緒に遊べて触れるタヌキくんに、子供達も、テンションマックスで帰っていきます!



ビンゴ

オプションプランのアキラボーイの「ビンゴ大会」です。
景品はタヌキちゃんのグッズなどになりますが、デジタルショーを見た後は、そんなグッズが欲しくてテンションマックスになります!



せいさく

こちらもオプションプランの「記念グッズ制作」です。
卒園や卒業時、または記念に合わせて、オリジナルの自由帳や、マグカップなどを制作します。





行く先々で愛されています!

かざりつけ

行く先々の幼稚園、保育園、小学校などで、担当してくれているお母さんたちが、様々な飾り付けを作ってくれます。他の芸人たちと比べても、こんな事してくれるのは、アキラボーイしか見た事がありません。まさにそのくらいとても現場では愛されていて、これはアキラボーイの人柄がなせることなのかもしれませんね。

